

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①茶室は神聖な場所であることを理解する。茶の心を学び、先生を敬い、相手を思いやり、自らを慎む。</p> <p>②礼法（座礼、立礼）を覚える。和室での心得を学ぶ。（毎回反復練習をする。）</p> <p>③茶室に必要な道具名を覚える。点前道具の名称を覚える。道具を大切に扱う。</p> <p>④風炉薄茶点前を一人で出来るようになる。</p> <p>⑤茶の歴史を学ぶ。鎮信流について学ぶ。</p>
授業計画	<p>1 日本<small>の</small>礼法① ・本学における茶道文化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関での心得について、茶室の入り方を学び体験する（手荷物、靴の脱ぎ方、床の拝見について）</li> <li>・教科書、学習帳、服紗ばさみ（名前を書く）</li> <li>・服紗ばさみの中の説明を受ける（扇子、服紗、出し服紗、菓子切り、懐紙、服紗ばさみ）</li> <li>・本学における茶道文化：茶道文化の意義（教科書P7～P12）、準備当番、茶室での約束事</li> <li>・禅語「看却下」</li> <li>・ワンポイントレッスン「身だしなみ」「立礼・座礼」「正しい靴の脱ぎ方」「和室で踏んではいけないもの」</li> <li>・座礼、立礼について学び体験する（双手礼、爪甲礼）（会釈、敬礼、最敬礼）</li> </ul> <p>2 日本<small>の</small>礼法② ・立礼、座礼について（お辞儀の仕方）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「和敬清寂」</li> <li>・和・敬・清・寂について（教科書P1～P6）</li> <li>・ワンポイントレッスン「利休七則について」（教科書P24～P25）</li> <li>・服紗の畳み方、扱い方を学ぶ（教科書P53～P55）</li> <li>・風炉薄茶点前（見本・説明）</li> <li>・班に分かれて挨拶、礼法、歩き方（半畳3歩）、靴の脱ぎ方、席入り、退席の仕方</li> </ul> <p>学習課題 復習：ドリル（1週目の復習：和室で踏んではいけないもの、礼法、服紗ばさみの中） 予習：服紗の畳み方、扱い方を学ぶ（教科書P53～P55） ドリル（一般常識：誤字訂正）</p> <p>3 日本<small>の</small>礼法③ ・平戸について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「大道無門」</li> <li>・ワンポイントレッスン「敬語について」（尊敬語、謙譲語、丁寧語）</li> <li>・平戸について学ぶ（教科書P29～P33）DVD:平戸の映像</li> <li>・鎮信流についてまとめる</li> <li>・服紗の付け方、捌き方の復習をする</li> <li>・和室での立ち振る舞い、歩き方、礼法の復習をする</li> </ul> <p>学習課題 復習：ドリル（2週目の復習：利休七則、4規、席入り、退席の仕方） 予習：平戸について学ぶ（教科書P29～P33） ドリル（一般常識：慣用句）</p> <p>4 風炉薄茶点前① ・道具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「洗心」</li> <li>・ワンポイントレッスン「雑巾の絞り方、拭き方、掃除機の掛け方」</li> <li>・茶道具の説明（教科書P37～P50）</li> <li>・茶道具の準備と後片付けについて学ぶ</li> <li>・服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を体験する（教科書P53～P57）</li> </ul> <p>学習課題 復習：ドリル（3週目の復習：敬語、平戸、鎮信流について） 予習：茶道具の説明（教科書P37～P50） ドリル（一般常識：適切なことば）</p> <p>5 風炉薄茶点前② ・お菓子の取り方、食べ方を学び体験する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「喫茶去」</li> <li>・ワンポイントレッスン「箸の使い方について」（箸の持ち方、柄杓の持ち方、使い方を知る）</li> <li>・お菓子の取り方、食べ方を学び体験する</li> <li>・茶筌の扱い方、お茶の点て方、飲み方、片づけ方を体験する</li> </ul> <p>学習課題 復習：ドリル（4週目の復習：茶道具、準備と片付けについて） 予習：ドリル（一般常識：適切なことば2）</p> <p>6 風炉薄茶点前③ ・茶巾の絞り方、茶巾のさばき方、仕込み茶碗の仕方を体験する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「清風匝地」</li> <li>・ワンポイントレッスン「上着の扱い」「訪問のマナー」（研究室への入り方、茶会での返答の仕方）</li> <li>・茶巾の絞り方、茶巾のさばき方、仕込み茶碗の仕方を学ぶ（教科書P59, P60）</li> <li>・茶巾の絞り方、茶巾のさばき方、仕込み茶碗の仕方を体験する</li> <li>・服紗さばき・棗の清め方・茶杓の清め方の復習をする</li> </ul> <p>学習課題 復習：ドリル（5週目の復習：箸の使い方、柄杓の扱い方について） 予習：茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗の仕方を学ぶ（教科書P59, P60） ドリル（一般常識：四字熟語）</p> <p>7 風炉薄茶点前④ ・水指の置き合わせから洒を持って入るまで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「歩々是道場」</li> </ul>

	<p>・ワンポイントレッスン「衣替えについて」  ・水指の置き合わせから釜の蓋を清めるまで（教科書P70～P72）  ・茶道具の持ち方（水指、茶碗、棗、酒）  ・道具の置き合わせ、清め方、柄杓の扱い方  <b>学習課題</b> 復習：ドリル（6週目の復習：茶道具について）  予習：水指の置き合わせから釜の蓋を清めるまで（教科書P70～P72）  ドリル（一般常識：対義語）</p> <p>8 風炉薄茶点前⑤ ・茶筌通し・茶碗の拭き方まで  ・禅語「日々是好日」  ・ワンポイントレッスン「茶の種類」（緑茶、ウーロン茶、紅茶）  ・茶筌通し、茶碗の拭き方まで（P73～P74）  ・茶筌通し、茶碗の扱い方、お湯の捨て方  ・茶巾の扱い方、茶碗の拭き方まで</p> <p><b>学習課題</b> 復習：ドリル（7週目の復習：茶道具の置き合わせ）  予習：茶筌通し・茶碗の拭き方まで（P73～P74）  ドリル（一般常識：誤字訂正2）</p> <p>9 風炉薄茶点前⑥・抹茶の入れ方 ・水指の蓋の扱い方・湯の入れ方 ・茶の点て方  ・禅語「且座喫茶」  ・ワンポイントレッスン「茶の飲み方」（団茶法、抹茶法、煎茶法）  ・抹茶の入れ方、水指の蓋の扱い方、湯の入れ方、茶の点て方（P74, P75）  ・お茶を点てるまでを体験する</p> <p><b>学習課題</b> 復習：ドリル（8週目の復習：茶筌通しまでの流れ）  予習：抹茶の入れ方、水指の蓋の扱い方、湯の入れ方、茶の点て方（P74, P75）  ドリル（一般常識：対義語2）</p> <p>10 風炉薄茶点前⑦・客点前 ・茶碗の取り込み方  ・禅語「閑古錘」  ・ワンポイントレッスン「侘び茶」（村田珠光、武野紹鷗・千利休）  ・客点前  ・茶碗の取り込み方（P76）  ・薄茶点前前半復習  <b>学習課題</b> 復習：ドリル（9週目の復習：薄茶点前前半までの流れ）  予習：客点前・茶碗の取り込み方（P76）  ドリル（一般常識：特別な読み方）</p> <p>11 風炉薄茶点前⑧・薄茶点前後半の見本  ・禅語「処々全真」  ・ワンポイントレッスン「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）  ・風炉薄茶点前後半の見本・説明  ・風炉薄茶点前後半</p> <p><b>学習課題</b> 復習：ドリル（10週目の復習：客点前・茶碗の取り込み方）  予習：風炉薄茶点前後半  ドリル（一般常識：特別な読み方2）</p> <p>12 風炉薄茶点前⑨・薄茶前半（内検）  ・禅語「明珠在掌」  ・ワンポイントレッスン「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き）  ・服装・身だしなみチェックシート記入（ドリルなし）  ・薄茶点前前半（内検）</p> <p>13 風炉薄茶点前⑩・薄茶点前前半総復習  ・禅語「?啄同時」  ・ワンポイントレッスン「茶道具の取り扱い方について」  ・実技試験のチェックポイント  ・薄茶点前前半練習</p> <p><b>学習課題</b> 復習：ドリル（1回目から12回目までの禅語の復習）</p> <p>14 薄茶点前確認（実技試験）  ・薄茶点前確認（実技試験）  ・実技試験を受けたら、客点前をする。  ・終わった順に速やかに退席する。</p> <p>15 煎茶の入れ方を体験する  ・禅語「一期一会」  ・ワンポイントレッスン「煎茶の入れ方」  ・煎茶の入れ方を学び体験する  ・茶道具の取り扱い方の確認  ・自己評価  ・アンケート記入  ・学習帳回収</p> <p><b>学習課題</b> 復習：ドリル（今までの復習）  予習：ドリル（学習帳のまとめ）</p>
授業形態	講義と演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①茶道文化で身に付けたマナーや礼法を、茶室以外の生活の中でも実践するようになる。 ②日本の礼儀作法を学び相手を思いやる行動ができるようになる。 ③日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持つようになる。（自国文化の再確認） ④箸の使い方や掃除の仕方を知り、実践できるようになる。 ⑤茶の歴史を知り、自分に置き換えて行動できるようになる。（異文化交流に役立てる）
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。

履修条件	長崎短期大学に入学した本科生
履修上の注意	茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。(茶室は神聖な場所である) 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。(TPOを考える) 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。(自主学習) 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨むこと。(時間厳守)
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。 ⑥日本の礼法を学びましょう。 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。